

医療改革によるヘルスケアファンドへの影響

安藤由美（国際医療福祉大学）

ヘルスケアファンドは、2つの意味合いで使用されている。(1)株式投資信託としてのヘルスケアファンドと(2)不動産投資信託としてのヘルスケアファンドである。最初にこの2種類のヘルスケアファンドの仕組みを概観し、現状と歴史について解説する。

また医療制度改革は、①保険医療システムの改革、②診療報酬体系の改革、③医療保険制度の改革を3本の柱としている。特に2002年のマイナス診療報酬改定、2004年新病院会計準則の導入、病院評価機関の発足、DPC導入病院の拡大は病院経営に大きな影響を与えた。

本報告では2種類のヘルスケアファンドの相違点を考慮した上で、(1)株式投資信託としてのヘルスケアファンドと(2)不動産投資信託としてのヘルスケアファンドに、医療制度改革がどのような影響を与えたのかを比較・分析する。(1)株式投資信託としてのヘルスケアファンドについては、リターン・純資産総額を時系列分析する。一方(2)不動産投資信託としてのヘルスケアファンドに関しては、流動化スキームや対象先の多様化に注目した分析を行う。